



やま ざき まさ ゆき
山 崎 正 行

しみんくらぶ
市民クラブ

消防団詰所の改善と車両の配備について

問 市民の安全・安心に多大な貢献と防火・防災活動に尽力されている各消防団の詰所の設備改善が大きく遅れている現状にあると聞き及ぶ。総務省も国民の命を守る消防行政には、特に予算面と人員の増員に力を入れている。従って、各消防団の詰所の改善と車両配備の在り方を検討し、より市民に信頼される消防行政の推進に努め、津市の安全・安心に努力されたい。

答 消防団の組織等は、平成18年の市町村合併以前の体制をそのまま引き継いでおり、消防団詰所についても、車庫のみの建物となっている所もある。

消防団車両の配置については、津方面団のように1分団1車両の方面団もあれば、一志方面団のように分団数以上の車両を保有している方面団もあるなど、過去の災害や地域性に応じた体制となっている。

現在、消防団幹部で構成される「消防団在り方検討会」を設置し、効果的な配置について協議、検討を重ねているところであり、今後、さらに議論を深め、適正な消防団車両、消防団詰所等の在り方はもとより、地域の皆様が安心できる地域防災体制につながる消防団の将来像について検討していく。

●その他の質疑・質問●

- 市長の市議会議員選挙での行動と政治姿勢を問う
- 16億円を投資した難聴率の高い防災行政無線に関し、難聴地域と災害弱者への戸別受信機の設置について
- 予算30億円が追加補正となった津市産業・スポーツセンターについて
- 県道石橋停車場線の路肩補修について など



▲改善が待たれる消防団の活動拠点である一志町内の団詰所



いわ わき けい いち
岩 脇 圭 一

いっ しん かい
一 津 会

中小企業振興について本市の取り組みは

問 三重県議会において三重県中小企業・小規模企業振興条例案が審議されているが、これは、三重県が中小企業政策を強く進めるといふ意気込みの表れであり、この条例の制定を受けて、津市としてこれまでの方向性にどういった変化があり、施策としてどのような方向性を示していくのか。

答 三重県中小企業・小規模企業振興条例案には、ものづくり産業の振興、起業・創業の促進、新たな販路の拡大に挑戦する中小企業者への支援及び海外展開の促進などが、中小企業振興施策の基本的な事項として掲げられている。

津市の産業、特にものづくりの産業振興策では、今回の県条例案に掲げられた中小企業に対する振興及び支援策に沿ったものをこれまで展開してきた。

今回、県条例案における、ものづくり産業振興の方向性は、津市が取り組んでいる振興及び支援策とも同じ方向性であると考えていることから、現在の中企業に対する取り組みを継続していく。

●その他の質疑・質問●

- 中心市街地のまちづくりビジョンの策定と推進体制は
- 社会的責任に関する国際規格ISO26000の今後の取り組みは
- 学校施設の維持管理、更新について今後の方向性は
- 高齢社会に対応し成年後見制度の活用と市民後見人の育成を
- 救急搬送の新しい取り組みは
- 文化振興計画について劇場法を踏まえた施策の充実を など



▲新たな事業を創出する経営者の支援を（創業道場の様子）